

臨床医学研究のお知らせ

〇〇〇〇（施設名、代表者： ）では、将来の医療を向上させるため、『利用者
の状態変化に適切に対応する精神科訪問看護の提供体制整備に向けた研究』に協力してい
ます。

1. 研究の対象

〇〇〇〇（施設名）において精神科訪問看護を利用されている利用者の皆様のうち、
1) 過去 1 年間に訪問頻度の変更（増加、減少）があった利用者の方
2) 週に複数回の訪問や緊急訪問のあった利用者
3) 過去 1 年間に 1 か月以上、週に 3 回以上の訪問看護を利用している利用者の方
のいずれかの基準を満たす利用者の方のカルテを調査対象といたします。

2. 研究の目的・方法

本研究は、地域において精神科訪問看護が、どのような利用者の方に、どのような体制
で、利用者の方の状態変化に応じた訪問看護を提供しているかを可視化し、保健・医療・
福祉関係者等と連携した体制整備や当該体制における精神科訪問看護が担う役割について
実態をもとに明確化することを目的としています。

この調査は、2024 年 12 月 27 日まで実施する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査対象となる利用者の方のカルテを調査し、精神症状/生活状況/GAF（※）/身体疾
患、指示書の内容、計画書の内容と活用方法、アセスメント項目と記載内容、訪問頻度と
変更の頻度/変更時のアセスメントと記録の内容について、情報収集させていただきます。

利用・情報の提供を開始する予定日は、2024 年 10 月 10 日といたします。

※GAF（Global Assessment of Functionin）機能の全体的評定

4. 外部への試料・情報の提供 該当なし

5. 研究組織

- 共同研究機関 国立看護大学校 菅間真美/森真喜子, 聖路加国際大学 瀬戸屋希,
東京大学 宮本有紀, 神戸市看護大学 船越明子, 浜松医科大学 木戸芳史
- 調査委託業者 PwC コンサルティング合同会社

つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。~~なお、研究者があなたのお名
前や住所をお伺いすることはありません。~~個人情報厳重に管理させていただきます。この調
査では、ご協力を拒否することも自由です。

もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記に〇月〇日までにご連絡く
ださい。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

【利用を拒否する場合の連絡先】

（電子メール）survey.houmon.r6@gmail.com 調査事務局

（電話）国立看護大学校 042-495-2505（月～金 9:00～17:00）担当者 菅間 真美

研究計画や研究方法に関係する資料をお知りになりたい場合は、他の利用者の個人情報
や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問が
ありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【研究に関する問い合わせ先】

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

聖路加国際大学大学院看護学研究科

瀬戸屋・青木・高橋・森田

Email survey.houmon.r6@gmail.com

【研究代表者】

国立看護大学校 菅間 真美